

最新 2026 年 8 月号より抜粋

準備が進む 77 周年国慶節

中華人民共和国成立 77 周年国慶節 中日国交正常化 54 周年 慶祝行事スケジュール

校友会大同窓会 開催

第 43 回 校友聯歡会開催

広東要明鶴同郷会 納涼会開催

街づくり 慰労会開催

呉夫妻百寿を祝う会開催される

相模湖・ダム建設追悼会 会長列席

華文教育の「新たな 100 年を目指して」

横濱華僑总会陳宜華会長与福建籍侨团代表助力横濱山手中華学校師生赴福建交流

卓球 OB・OG 会 開催

バスケ OB・OG 会 開催

関帝誕 おこなわれる

準備が進む 77 周年国慶節

中華人民共和国成立 77 周年国慶節 中日国交正常化 54 周年
慶祝行事スケジュール

祝賀宴会

日時：2026 年 9 月 30 日（水）

※招待者のみ

主催

横浜華僑総会

国慶節慶祝パレード

日時：2026 年 10 月 1 日（木）

13：00 スタート（雨天中止）

場所 中華街全域

後援

中華人民共和国

駐日本国大使館

全日本華僑華人社団聯合会

日本華僑華人聯合総会

慶祝獅子舞（採青）

日時：2026 年 10 月 1 日（木）

16：00 スタート（雨天中止）

場所 中華街全域

お問い合わせ

2026 国慶節実行委員会

会員・会友みなさまの
各祝賀行事へのご協力と参加をお願いします。



校友会大同窓会 開催

8月21日(金)、母校・横浜山手中華学校にて「校友会創立75周年記念 大同窓会」を開催した。当日は、卒業生を中心に275名の皆様にご参加いただき、16歳から90歳代まで、幅広い世代の校友生が集いました。世代を超えた交流と懐かしい再会に、会場は大いに盛り上がりました。開会にあたり、43届・安齊民穂会長の挨拶から始まり、続いて歴代会長の皆様から一言ずつお言葉をいただきました。また、横浜山手中華学校の張岩松校長から、歴代の老師の皆様を当時の写真とともにご紹介いただきました。懐かしい老師方の姿がスクリーンに映し出されると、会場からは驚きや懐かしさの声が上がり、当時の学校生活を思い出すひとときとなりました。



そのほか、校友生による告知・P Rタイムや獅子舞の演舞なども行われ、会場は終始和やかな雰囲気にも包まれました。会場の各所では、久しぶりに再会した同級生や先輩・後輩が思い出話に花を咲かせ、世代を超えた交流が広がった。今回の大同窓会では、卒業後それぞれの道を歩んできた卒業生が再び母校に集まり、「母校」という共通のつながりを改めて感じる機会となった。校友会では、これからも卒業生同士の交流を深め、母校とのつながりを大切にしながら、世代を超えた校友の輪を広げてまいります。（校友会）

第 43 回 校友聯歡会開催

8月22日（土）、横浜山手中華学校にて、横浜中華学校校友会主催の「校友聯歡会」が開催された。当日は、校友生をはじめ、母校中華学園の生徒・児童、家長、学校関係者など、多くの皆様にご来場いただき、会場は大いに賑わった。



文芸プログラムでは、中華学校の生徒たちによるダブルダッチ、獅子舞、舞踊などが披露され、若さあふれる元気いっぱいの演技に、会場からは大きな拍手と歓声が送られました。また、校友会国術団による獅子舞や舞踊も披露され、力強く迫力のある演技で会場を盛り上げた。さらに、フィナーレでは昨年に引き続き夜光龍が登場。華やかに舞う龍の姿に、会場からは大きな歓声や応援が沸き起こり、最後まで熱気に包まれた。

模擬店ブースでは、横浜山手中華学校家長会によるたくさんの食品の販売提供、熊猫幼稚園家長会による子供が楽しめるゲームコーナー、横浜華僑婦女会による美味しい家庭料理の販売提供、そして校友会によるドリンクやタオルの販売が行われ、会場のあちこちで笑顔や会話が広がった。子どもから大人まで、食事やゲームを楽しみながら交流する姿が見られ、世代を超えた交流の場となった。

また、横浜山手中華学校張校長と校友会安齊会長より挨拶があり、校友会を代表して母校へ寄付金が贈呈された。

今年も多くの皆様に支えられ、会場は終始活気にあふれました。最後には恒例の大抽選会も行われ、会場からは最後まで大きな歓声が響き、盛況のうちに閉会となった。

ご来場いただきました皆様、そして開催にあたりご協力いただきました横浜山手中華学園、横浜山手中華学校家長会、熊猫幼稚園家長会、横浜華僑婦女会をはじめ、多大なるご支援をいただきました皆様に、心より御礼申し上げます。（校友会）

広東要明鶴同郷会 納涼会開催

去る8月25日、広東要明鶴同郷会（陸佐光会長）は2年ぶりに納涼懇親会を開催した。今年は会場を中華街の外に移し、山下公園内にあるカフェレストラン、ザ・ワーフハウスにて開催した。当日は夕方には猛暑もおさまり、外の席でも納涼会にふさわしい気持ちのいい海からの風を感じることができた。お店側の取り計らいでスタート時間10分前から各自飲み物をとることができ、6時に陸会長のあいさつと乾杯の発声で納涼会が開始した。会員、会員家族、会友の計136名が今までとはひと味違う洋食buffetとカフェバースタイルの飲み放題を、ベイブリッジやみなとみらいの夜景を堪能しながら楽しんだ。7時過ぎには抽選会で



盛り上がり、最後に林偉珊副会長のあいさつで締めて、参加者全員が抽選会のお土産を持って笑顔で山下公園を後にした。（広東要明鶴同郷会）

街づくり 慰労会開催

7月に退任した「街づくり」林兼正前会長・曾徳深前副会長・王忠福前専務への感謝の集いが8月20日（木）に開催された。

各加盟団体の代表30約名が萬珍樓點心舖に集い、1993年発足時より33年にわたり街の声をまとめ、行政と交渉し、中華街憲章を制定し、各地域の団体と交流、視察を重ね、春節、関帝誕、媽祖誕など様々なイベントで中華街を盛り上げてきたご一同の労をねぎらった。



呉夫妻百寿を祝う会開催される

信用組合横浜華銀元理事長、横浜台湾同郷会名誉顧問、横浜華僑商公会顧問の呉正男氏、令夫人久美さま夫妻そろっての桃寿（百寿 100 歳）の祝いが、6月24日（水）中華街の萬珍樓で開催された。

会は施梨鵬女士、陳鳳娣女士、陳淑明老師、許旭蓮老師、楊義誠氏の5名が呼びかけ人となり呉さんと親交のある横浜各界の80名が集った。

乾杯に先立ち呉さんの幼少期から昨年6月に先の戦争で旧日本軍の軍人・軍属として戦死した約3万人の同胞を慰霊する碑を横浜市磯子区の真照寺に建立した現在までの足跡をまとめた短編ビデオが上映された。

呉さんは台湾が日本の植民地時代だった1927年に台湾中部の斗六（とろく）で生まれた。皇民化政策で、一家は「大山」に改姓した。

呉さんは8人兄弟の長男で、41年に東京の中野中学校に進学。剣道で心身を鍛え、中学3年の44年3月、陸軍特別幹部候補生に志願した。やがて水戸陸軍航空通信学校に入隊。2400人から機上勤務者200人が選ばれた。台湾出身は呉さん1人。

滑空飛行第一戦隊に通信兵として所属し、1945年8月15日の敗戦の玉音放送を、現在の朝鮮民主主義人民共和国の日本海に面した宣徳飛行場で聞いた。



（写真は桃寿の祝いに萬珍樓よりプレゼントされた寿桃に入刀するご夫妻）

部隊解散後、民間人に変装して数人で朝鮮半島南部を目指し山中を徘徊したが、三十八度線近くの山中でソ連兵に捕まった。貨車に積み込まれ、約千五百人の捕虜とともに中央アジアの半砂漠地のカザフスタン州の収容所生活に入った。約二年間の重労働、収容所生活を経て1947年の7月12日に日本海の舞鶴港に上陸、19歳で体重は四十キロに減っていた。

その後、闇市で働いて生計を立て、パチンコ店で働きながら中学に復学し、法政大学へ進んだ。卒業後、53年久美さまと結婚。54年に横浜中華街の信用組合国際興業合作社（現在の信用組合横浜華銀）に就職、99年72歳で46年勤めた華銀を退職する。

52 年、講和条約の発効に伴い、呉さんは日本国籍を喪失する。これにより日本政府にシベリア強制抑留者として支援を請求するも却下される。波乱に満ちた人生であったが、現在も精力的に横浜華僑社会への貢献に奮闘している。横浜華僑総会事務所が入居する中華大廈の取得に際しても汗を流してくれました。

相模湖・ダム建設追悼会 陳会長列席

7 月 26 日、「相模湖・ダムの歴史を記録する会（橋本登志子会長）」主催による第 48 回相模湖・ダム建設巡職者合同追悼会が、相模原市緑区与瀬にある神奈川県立相模湖交流センターにおいて開催された。横浜華僑総会からは陳宜華会長招かれ列席し、中国人を代表し追悼の言葉を述べた。その中で陳会長は、「過去の歴史を直視し、二度と同じ過ちを犯さないよう、国籍や民族の違いを乗り越え、平和と友好の精神を次世代に繋いでいこう」と語った。

追悼式には中国、韓国、日本の政府関係者及び地元市民ら約 200 名が参加し、参列者全員による献花が行われ、ダム建設に従事し殉難した人々に哀悼の意を捧げた。会場では、平和の祈りを込めたバイオリン演奏のほか、地元小学生による詩の朗読や合唱が披露され、厳かな雰囲気の中で式典がとり行われた。また、横浜中華学校校友会国術団による中国獅子舞が披露され、会場は大きな拍手と歓声に包まれた。

相模ダムは日本初のダムとして、1940 年に建設が始まり、1947 年に完成した。労働者延べ 360 万人が従事し、日本軍に強制連行された中国人約 300 人も含まれていた。極めて劣悪な労働条件と非人道的な扱いを受け、多くの労働者が建設中に命を落とした。1979 年以降「相模湖・ダムの歴史を記録する会」によって追悼会が毎年開かれ、壮絶な歴史の事実を後世に伝えている。

華文教育の

「新たな 100 年」を目指して 185

横浜華僑总会陳宜華会長 与福建籍侨团代表助力 横滨山手中华学校师生赴福建交流

2026 年 8 月 3 日至 9 日，横浜華僑总会會長陳宜華携福建籍侨团代表，与横滨山手中华学校张岩松校长及 20 余名华裔夏令营师生一同赴福建，参加“感受八闽侨乡”夏令营及相关交流活动。

此次活动主要以文化参访、学校交流和青年活动为主。夏令营期间，师生们先后参观当地历史文化景点、学校以及有关教育和社会设施，通过实地参观和交流，了解福建的历史文化及近年来的发展情况。

8 月 4 日，夏令营在福州外国语学校举行开营仪式。日本福建经济文化促进会名誉会长李云书、李宗根，会长陈本荣，日本横浜華僑总会會長陳宜華，日本横浜福建经济文化促进会會長游群，日本福州十邑同乡会名誉會長郭联輝，在日中国福建企业联合会會長林玉兰，以及横滨山手中华学校校長張岩松等出席了开营活动。



公众号·厦门市福清商会

陈宜华会长在活动期间与师生一同参加参访，并与福建当地有关方面进行交流。他表示，海外华裔青少年成长在不同的文化环境中，通过参加这样的活动，可以更加直接地了解中华文化和祖籍地的情况。对于华文教育而言，这也是课堂学习之外的一种重要体验。

在福耀科技大学参观期间，师生一行与福耀集团创始人、福耀科技大学创办人曹德旺先生进行了交流。张岩松校长介绍了横滨山手中华学校的发展历史，以及学校长期开展华文教育、推动中日教育交流的情况。通过此次交流，师生们也进一步了解到国内教育事业和社会发展的新变化。

8月7日，横滨华侨总会会长陈宜华、张岩松校长及夏令营师生访问厦门市福清商会，并与商会负责人及旅日侨界人士举行座谈。日本福建经济文化促进会名誉会长李云书、日本福州十邑同乡会名誉会长郭联辉、日本横滨福建经济文化促进会会长游群、在日中国福建企业联合会会长林玉兰等旅日侨界代表也参加了此次活动等参加了交流。

厦门市福清商会会长许金华、轮值会长王传祥、名誉会长李宗根、常务副会长兼秘书长王著魁、常务副会长王丁为、青委会主任陈恒强、青委会秘书长杨挺强等参加座谈

座谈中，陈宜华会长介绍了横滨华侨总会及横滨山手中华学校开展华文教育和青年交流方面的情况，并感谢李宗根会长、李云书会长等乡贤长期以来对横滨华侨总会及学校的关心和支持。与会人员还就海外华文教育、华裔青少年成长以及海内外侨团之间的交流等进行了交流。大家认为，海外华文教育需要侨团、学校以及社会各方面共同支持，通过增加青年交流和文化体验，让海外华裔青少年有更多机会了解中华文化。

此次福建之行，对参加活动的学生来说是一次难得的学习和交流机会。通过参观、交流和亲身体验，学生们对福建的历史文化、社会发展以及当地生活有了更加具体的认识。

对于横滨华侨总会而言，此次活动也进一步加强了与福建当地侨团及有关方面的联系。今后，横滨华侨总会将继续关注华文教育和华裔青少年交流，积极支持学校开展相关活动，为海外华裔青少年创造更多了解中华文化和加强中日民间交流的机会。

卓球OB・OG会 開催

7月26日、山手中華学校体育館において、恒例の横浜中華学校校友会卓球部OB・OG会が行われた。当日は午後からOB・OGが三々五々20人ほどがあつまり、現役中学生との団体戦をメインに行った。今年のOB・OG会は若い高校生OBの参加も多く、現役たちと熱戦を繰り広げてくれた。昨年の団体戦はOBOGチームが2チームだけであったが、今年は4チーム作り、精鋭揃いのAチームが現役3年生チームと最終5人目までの激戦を制し、昨年に引き続き、OBチームが面目を保って優勝した。交流終了後、21届の陳学群OB会会長が卓球部OBOG会を代表して、学校卓球部に2万円の寄付を贈呈した。



午後6時からの懇親会は中華街・美心酒家で開催され、こちらもおいに盛り上がった。年々世代を超え交流を深めているOB・OG会、今年初めて参加してくれた51届も第1部、第2部ともに盛り上げてくれて、年代が変わっても常に在校時の思い出話を共有できるのが、我が横浜山手中華学校のいいところだとつくづく感じた。
(筆 黄巧玲)

バスケットボール・OG会 開催

7月25日日本校体育館にて校友会バスケットボール・OG大会を開催した。

20人あまりが集まりミニゲームやフリースロー大会を行い交流を深めました。夜には蓬莱閣で親睦会を開き多くの話題で盛り上がり親睦を深めた。



関帝誕 おこなわれる

8月6日（木）農曆六月二十四日吉日、横濱関帝廟において午前11時より「関帝誕」の祭事が執り行われた。

林兼正理事長が主祭を務め、撞鼓三通、鳴鐘九響から始まり、「風調雨順、國泰民安」「千年香火、萬年永在」「火盜無侵、境土和平」を祈念した。

午後4時から関帝聖君の神輿が街を巡るパレードが媽祖廟からスタートし、竜舞・獅子舞や台湾からの將軍會による謝范將軍（白無常・黒無常）、天女の舞やハリボテ、大型人形が沿道の目を楽しませた。



理事、陪席者一同



媽祖廟にて奉納の舞